

**政策 05 環境と調和したまちづくり**

**施策 01 資源循環型社会の形成**

**あるべき姿**

施策がめざす尾張旭市の姿  
市民・事業者・行政の協働により、資源循環型社会が形成されています。

**施策の成果状況と評価**

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	ごみ総排出量 ( t )	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
		【環境課】	24,805	25,568	25,571	23,500
評価	(状況) 前年度に比べ、実績値が3t増加した。 (原因) 家庭系ごみは0.5%減少したが、コロナ禍による巣ごもりが続いていたR2年度と比較して、人の動きが出てきたこともあり、飲食店などから出る事業系ごみが2%増加した。資源ごみは、古紙(市回収)、びん、紙パック、ペットボトル、プラスチック製容器包装、小型家電の回収量が増加し、分別意識の高まりが見受けられたが、資源ごみ回収団体の回収量が減ったことなどにより、全体としては0.8%減少した。					対前年度
						☂ (低下)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 発生抑制の推進

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	市民一人一日あたりのごみ総量 (g) 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
		820	837	840	777	☔
評価	(状況) 前年度に比べ、実績値が3g増加した。 (原因) 家庭系ごみは0.5%減少したが、コロナ禍による巣ごもりが続いていた前年度と比較して、人の動きが出てきたこともあり、飲食店などから出る事業系ごみが2%増加した。資源ごみは、古紙(市回収)、びん、紙パック、ペットボトル、プラスチック製容器包装、小型家電の回収量が増加したが、資源ごみ回収団体の回収量が減ったことなどにより、全体としては0.8%減少した。					対前年度
		(低下)	☔	(低下)	目標達成度	(---)

## 基本事業01 発生抑制の推進

指標	発生抑制(リデュース)に取り組んでいる市民の割合 (%) 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
		93.2	-	93.6	94	☀
評価	(状況) R元実績値(94.5%)に比べ、実績値が0.9ポイント低下した。 (原因) 令和2年7月からのレジ袋有料化に伴い、マイバッグやマイバケットを利用する市民の割合は3.9ポイント増加したが、コロナ禍の影響により家庭から出るごみの減量が滞っている。					対前年度
		(低下)	☔	(低下)	目標達成度	(---)

## 基本事業02 資源化の推進

指標	資源化率 (%) 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
		27.5	24.7	24.6	32	☔
評価	(状況) 前年度に比べ、実績値が0.1ポイント減少した。 (原因) これは、資源ごみ回収団体による資源ごみの回収量が大幅に減ったことが要因である。なお、古紙(市回収)、紙パック、ペットボトル、プラスチック製容器包装、小型家電は前年度よりも回収量が増加しており、市民の分別意識は高まっている。					対前年度
		(低下)	☔	(低下)	目標達成度	(---)

## 基本事業02 資源化の推進

指標	燃えるごみの組成調査における資源物の混入割合 (%) 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対基準値
		23.6	-	24.0	23.1	☔
評価	(状況) R元年度の前回調査時(22.9%)に比べ、実績値が1.1ポイント増加した。 (原因) コロナ禍による巣ごもり需要によりプラスチック製容器包装等の混入が増えるなど、資源物が全体的に増加している。					対前年度
		(低下)	☔	(低下)	目標達成度	(---)

**基本事業03 再使用の推進**

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	リサイクル広場におけるリユース件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	568	310	160	400	☂ (低下)
評価	(状況)前年度の実績値に比べ、現状値が150件減少した。 (原因)リサイクルひろばを移転開設する際に、民間で拡大するリユースの動向を踏まえ、事業見直しにより対象品目をベビーカーとチャイルドシートに限定したため、件数は大きく減った。月平均で13件のリユース品の引き渡しがあり、一定のニーズはあるものの、目標からは大きく離れている。	(件) 				対 前年度
		☂ (低下)	目 標 達 成 度	(---)		

**基本事業03 再使用の推進**

指標	再使用している市民の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	40.2	-	40.0	42	☁ (横ばい)
評価	(状況)R1実績値は40.1%でR1実績値よりも0.1ポイント低下した。 (原因)R3まちづくりアンケート（設問番号4-1問26）によると、小問15のリサイクルショップやインターネットを利用して中古品を売買する市民の割合は3.5ポイント増加したが、小問14リサイクル商品やエコマーク商品を選ぶ市民の割合は0.8ポイント低下した。	(％) 				対 前年度
		☁ (横ばい)	目 標 達 成 度	(---)		

**基本事業04 ごみ収集処理体制の整備**

指標	ごみ残置シール貼付数（枚）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	2,895	3,637	2,081	2,800	☀ (向上)
評価	(状況)前年度から1,556件大幅に減っており、目標値2800件を下回っている。 (原因)令和3年12月から、前年度に排出不可としていたリチウムイオン電池等発火性危険物の分別収集を開始したことで減っているのも一因であるが、市民の適正排出が進んでいることが主因である。	(枚) 				対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達 成 度	☑ (達成)		

**基本事業04 ごみ収集処理体制の整備**

指標	ごみ収集に関する不具合・事故件数（件数）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	10	4	1	9	☀ (向上)
評価	(状況)前年度と比較して、3件減っており、後期目標値の9件を大幅に下回った。 (原因)交通事故が1件もなかったこと、故障により収集に影響が出る事案が1件のみであったことが原因である。	(件数) 				対 前年度
		☀ (向上)	目 標 達 成 度	☑ (達成)		